



日差しも強くなり、いよいよ夏の到来です。

1学期の取り組みを振り返りながら、必要なインプットもお忘れなく。

新しい知識や情報を得るために、教育ライブラリーの図書をご活用ください。

教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。

この『教育ライブラリーだより』では、できるだけ新しいものを中心に時折旧刊も交えながら、教育図書や雑誌などの紹介をしたいと思います。

教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。どうぞご利用ください。

書籍紹介

①「小学校発 アクティブ・ラーニングを超える授業－質の高い学びのビジョン「教科する」授業－」

石井英真／編著

(日本標準 2017年2月25日発行)

「主体的・対話的で深い学び」や「アクティブ・ラーニング (AL)」がよく話題になり、この「教育ライブラリーだより」でも関連する書籍を紹介してきましたが、もっと具体的な取り組みを知りたいという方にお薦めなのが本書です。本書では4つの小学校の取り組みが紹介されています。まず各校それぞれの取り組みの概要説明があり、6つずつの実践が紹介されています。そして各校の実践の見どころについて石井教授が解説し、授業づくりのポイントが提示されています。香川大学教育学部附属高松小学校の実践も紹介されており、実際の取り組み例を通して「主体的・対話的で深い学び (AL)」について学ぶことができます。ところで表題がALを「超える」となっているのはなぜか。そこには最近のALに関する編著者のある危惧が含まれています。詳しくはぜひ本を手にとってご確認ください。

②「プロカウンセラーの聞く技術」

東山紘久／著

(創元社 2020年3月30日発行)

教師は人の話を聞く機会が多いもの。悩みを抱えた子どもや保護者からの相談、同僚の相談もあるかもしれません。しかし、それらの話を本当に聞くことができているのでしょうか。教職に就いている人の多くは話し好きで、話し上手ではあっても、いやそれだけに、聞くことはそれほど得意ではないのかも。聞きながら、すぐに自分の体験談を語りだしたり、自説を展開したりしがちですが、相談者が求めているのは、たいていの場合、そのようなことではないのです。本当に「聞く」ためにはかなりの力量が必要であり、実に奥深いものであることが本書から伺えます。

本書では、相づちを打つ、自分のことは話さないなどの基本的な（ようで実際はなかなか難しい）ことから、共感とは何か、そもそも理解とは何かという心の奥底に迫る深い内容まで、人の話を「聞く」際の心の持ちようとその技術が述べられています。書名には「技術」とありますが、人間論と言うにふさわしい内容です。熟練したカウンセラーのようにはなかなかできないとしても、聞く技術を少しでも心掛けることで、より信頼感のある人間関係を築くことができます。「論破」が流行する昨今、交渉術や説得術が取り上げられることはあっても、「聞く技術」が話題になることはほとんどありませんが、いま必要なのは「聞く」ことではないのかと思えてきます。職場で頼りにされ、また家庭の平和を維持するためにも、本書を一読されることをお薦めします。

③「クラスはよみがえる」

野田俊作・萩 昌子/著

(創元社 2008年9月10日発行)

クラスの中に問題行動をする児童を見つけたとき、担任はどうするでしょうか。おそらく、その児童に個別に関わって直接指導することが多いのではないのでしょうか。でも、このような指導は、担任の意識がその児童にばかり行ってしまうので、気が付くと学級全体の收拾がつかなくなって学級崩壊につながるという危険性ははらんでいます。実際、多くの学校が似たような事案を抱えています。

本書では、問題行動をする個々の児童へのアプローチではなく、クラス全体へのアプローチが適切であると述べています。なぜなら、クラスの中に問題行動をする児童がいるということは、そのクラスの構造自体に問題があるのであって、教室全体の運営法の全面的な改革をせずに問題行動をなくすことはできないと考えているからです。競争原理に基づくクラスの構造は児童の問題行動を引き起こす、その構造を協力原理に基づくものに変革することでしか解決できないと言っています。

本書は、今から15年以上前に発行されたものですが(初版は1989年)、令和の時代にも十分通じる理論を展開しています。児童への対応に限界を感じ始めたベテランの方、学級経営に行き詰まっている若年の方や将来教職を目指して勉強中の方など様々な方のニーズにしっかりとアジャストする方略を提供してくれます。

本書の著者はいわゆる教育の専門家ではなく、子どもの問題に日々臨床的に関わっている精神科医とカウンセラーで、アドラー心理学を教育に生かそうとしている方たちです。そして、病気にかかった(過度の競争原理のためにバラバラになった)クラスが生み出した子どもの何人かが著者のお客になっていると、非常に手厳しく指摘します。教員生活が長い方であればあるほど腹を立てるであろうことは充分承知しているとまで言い切っています。しかし、教室の危機的な状況を脱することができるという提案をし、その具体的な理論や実践を紹介する一冊であることは間違いありません。心理学からの教育へのアプローチが具体的に述べられており、教師にとって一縷の光になるでしょう。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等(抜粋)
国語教育 (明治図書)	7月号	特集：保存版 一生使える国語授業技術大全 特別寄稿：ウェルビーイングの実現と技術の継承/本図愛美 連載 ・「個別最適」な国語授業づくり ・漢字学習 Re デザイン ・小・中学校国語教育の実践情報 ・わが県の国語ソムリエ/北海道
社会科教育 (明治図書)	7月号	特集：資料&図解で丸わかり！ 教材研究と授業デザイン ・おさえておきたい教材研究と授業デザイン ・「同じ教材での授業」使い方・教え方でここまで変わる 連載 ・100万人が受けない！見方・考え方を鍛える中学社会 ・リアルな世界と日本がわかる！地理授業デザイン ・多様性と向き合う公民教育 ・1人1台端末も有効活用！板書&資料でよくわかる授業づくりの教科書 ・明日の授業づくりに役立つ！学習指導案の理論と実践モデル

<p>数学教育 (明治図書)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：パフォーマンス評価パーフェクトガイド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス評価に関わるキーワード解説 ・年表でみる 教育観のパラダイム転換とパフォーマンス評価 ・よくわかる パフォーマンス課題のつくり方 ・パフォーマンス評価と相性抜群のオススメ思考ツール <p>連載 ・思考力・判断力・表現力を高める「学習&評価問題」のつくり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学教師のための「ロイロノート・スクール」活用ガイド
<p>理科の教育 (東洋館出版社)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：理科授業におけるDXの可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科授業におけるDXとは ・理科授業におけるDXの可能性(小・中・高) <p>連載 ・思考の「不確かさ」を批判的に指摘し合う理科指導法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定力装置を用いた、力と運動の関係を調べる実験 ・根と茎のつくりを「見える化」する工夫 ・理科を学ぶと、人生が変わる！
<p>英語教育 (大修館書店)</p> <p>7月号</p>	<p>第1特集：「発問」の技術を磨く</p> <p>第2特集：文字指導×教材作成 お助け誌上ワークショップ</p> <p>第3特集：教師の成長を支える大学院での学び</p> <p>連載 ・チーム中学高校英語 サステナブルな授業磨き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語授業×デジタルでしたいこと、できること ・The Road to 小学校英語授業改善 ・[実践マンガ] 英語教員よもやま話 ・生徒と英語の距離を縮める授業運営術 ・英語教育そもそも談話室 ・レトリック・イン・アクション ・ENGLISH DETECTIVE ・教師のための辞書活用法 ・外国語評価リテラシーを高めよう ・英語リーディング研究の世界 ・データサイエンス時代の英語教育研究 ・ICT活用の大ワザ・小ワザ BASIC ・英詩とめぐる12か月 ・The great Gatsby :夢と欲望と名文と ・物語の中の食の光景 ・コトバを見つめて
<p>道徳教育 (明治図書)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：スラスラ書ける指導案づくり 定番授業のモデル付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうすれば指導案がスラスラ書ける？ 私の指導案作成手順 ・ゼロからわかる！ 指導案の基本的な書き方と押さえどころ ・保存版 定番教材のモデル指導案 ・レベルアップ！ 授業過程に応じた指導案を書こう <p>連載 ・おもしろすぎて授業したくなる 森岡健太の板書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の道徳授業＝ホープ&エースを紹介します ・考え、議論する道徳に変える 加藤宣行の発問講座
<p>授業力&学級経営 力 (明治図書)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：圧倒的なボリューム！ 1号まるごと通知表所見文例900 生活面、学習面、特別活動、特別なニーズがあるこどもなど</p> <p>連載 ・レベル別全解説 教師のほめる技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAFULNESS 授業設計×学級経営×働き方改革 ・若い先生の心をふっと軽くする先輩のコトバ ・「学びにくさ」が生まれにくい教室づくりのために ・ここまでできる！ Canva for Education

<p>生徒指導 (学事出版)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：「専門スタッフ」と共に支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携のためのチーム学校とは ・専門職の具体的な役割とチーム支援体制の構築について ・生徒指導における地域との連携 ・学校での教員とスクールカウンセラーの協働のコツ <p>巻頭インタビュー：教育 YouTuber が考える「新時代の教師像」とは</p> <p>連載 ・ライブ講義「私的」教育相談入門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での危機管理について学ぶ 学校におけるハラスメント ・多様な背景をもつ子どもへのまなざし 子どもの発達を促す生徒指導 ・今こそ聞きたい！子どものための学校づくり 校則見直しがトレンド ・これからのデジタル・シティズンシップ教育 「著作権侵害」を考える ・先生のための保健だより ― 保健室から見る学校現場 けがの真相 ・えぞわ先生の時間のつくりかた 生徒の学力向上と仕事の時短両方実現 ・先生たちに教えたい イマドキ若者事情 ・深読み？教育の言葉 「非行」
<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>7月号</p>	<p>巻頭インタビュー：不便だから、考える―「不便益」のススメ/川上浩司</p> <p>特集1：子どもと教師で築く「学びの土台」</p> <ul style="list-style-type: none"> ―「教わる」「教える」垣根をとり、ともに探る豊かな学びを <p>特集2：「対話」の場のつくりかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の対話の場をいかにしてつくるか―哲学対話の考え方に基づいて ・「校内研修」で対話の場をつくる <p>連載・法律で読み解く学校経営プロブレム ・やわらかキョウイクアタマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OODA ループで学校改善 12 カ月 ・副校長・教頭を楽しむ
<p>初等教育資料 (東洋館出版社)</p> <p>7月号</p>	<p>巻頭言：スポーツを通じた社会への還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ― ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ <p>教育の扉：言葉のパワーを感じて</p> <p>特集Ⅰ：心身の健康の保持増進に関する指導</p> <p>特集Ⅱ：[国語] 学習指導要領における指導のポイント</p> <p>伝え合う力を高め自分の思いや考えを表現することのできる「話すこと・聞くこと」の授業改善</p> <p>連載 ・「認めて 褒めて 励まして」生き生きと学ぶ子供を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「引き出したい振り返り」からの授業づくりの推進
<p>中等教育資料 (学事出版)</p> <p>7月号</p>	<p>特集Ⅰ：学校段階間の接続を踏まえた指導に向けて②</p> <ul style="list-style-type: none"> <音楽・美術・芸術, 保健体育, 技術・家庭・家庭・情報> <p>特集Ⅱ：博物館と連携した教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博学連携の展開と新しい学び ・博物館に学ぶ日本史教育 ・3D 骨格標本を活用した進化の授業 <p>連載 ・チーム学校で特色づくり 鑑識眼を高める学び合う教師集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGA スクール環境と1人1台端末を活用した仙台三高の授業の特徴 ・世界の教育“This is Ghana”発展途上だからこそ感じる伸びしろと可能性
<p>学習情報研究 (学習情報研究センター)</p> <p>5月号</p>	<p>特集1：データ利活用と評価</p> <p>特集2：カリキュラムマネジメントとICT</p> <p>企画特集：GIGA 端末を効果的に活用するための周辺機器</p>

<p>実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：未来に向けて考えよう②特別支援学校・特別支援学級のこれから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内面に向き合いライフキャリア発達を促すストレスマネジメント教育 ・個別・集団における音声ペンのさまざまな活用 ・「学習は必ず生活場面で」は本当？～DTT・NETと「般化」のお話 ・強度行動障害などのある人の暮らし支援～大切なのは伝わる空気 <p>連載 ・1活動10分でできる「自立活動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事を楽しむ「イラスト教材」 ・「協同学習」のきほん ・自分を好きになる「キャリア教育」 ・教師の「お悩み解決」相談所 ・学びを個別最適化する「ICT活用」 ・授業に生かす「ABA」ほか
<p>特別支援教育研究 (東洋館出版社)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：学び、成長し続ける教師～豊かなキャリア発達のために～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決めて選んで深める研修 ・新たな価値を生み出す職員の対話 ・「エールカフェ」とその広がり ・「悩み」を解消する方策 <p>連載 ・格至日新 卒業後、その先の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今こそ知りたい特別支援教育の基礎知識「なるほど！」 ・やりがいと手ごたえのある学校生活を生み出す「できる状況づくり」 ・ユニバーサルデザインの視点を活かす！通常の学級における個別最適な学びと協働的な学び ・通級指導担当者からの発信 自立活動ホップ・ステップ・ジャンプ！ ・ICTで変えよう！特別支援学級の授業づくり ・通常の学級における聴覚と視覚支援を用いた自作支援ツールによる行動支援の工夫
<p>学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)</p> <p>6月号</p>	<p>特集：学校図書館法公布70周年 I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第53回「学校図書館賞」選考報告 ・第28回「日本絵本賞」選考報告・選評
<p>高校教育 (学事出版)</p> <p>6月号</p>	<p>特集：「探究」のこれまでとこれから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来社会を創造する「探究」に向かって/田村学 ・「探究的な学習」における評価のポイント ・「探究基礎」今昔 堀川高校のこれまでとこれから ・探究的な学びは大学入試に役立つのか ・探究ヒント集 素朴な疑問と問題解決に役立つリソース <p>巻頭インタビュー：教員のメンタルヘルスは職場の声がけで変わる</p> <p>連載 ・シン・高校教育論 チャット GPT が問題なのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒瀬克己の「おとなの探究基礎」 ・学校をおもしろくする思考法 PDCA を金科玉条にすることの弊害 ・悲鳴をあげる学校/小野田正利 ・高校教育のアキレス腱 ひとつとではない教員不足 ・授業改善のリーダーシップ 教師と生徒の学びは相似形 ・鉄道と高校 駅舎で「カフェ」を営む
<p>学校事務 (学事出版)</p> <p>7月号</p>	<p>特集：教育DXと校務の情報化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想下での校務DXの方向性 ・デジタル学校日誌で「学校の働き方」をスマートに ・子どもが学校で受け取るプリント類のデジタル化に関する実態調査 ・東京都立高校入試のインターネット出願導入 他

	<p>巻頭インタビュー：子どもの見本となる「学校の」働き方を/西村祐二 連載 ・日々を彩るオススメ文具 ・事務職員お悩み相談室 ・学校をおもしろくする思考法 ・勤務時間制度の解説(2) ・学校徴収金に関する事務 ・危険等発生時対処要領の作成・改訂</p>
<p>指導と評価 (日本教育評価研 究会) 7月号</p>	<p>特集1：思考力の育成と評価 特集2：特異な才能のある子の支援 巻頭言：大学入学共通テストは思考力を測れているか 連載 ・目標標準評価を教育に生かす一国語の評価(3) ・算数科で育てる「思考・判断・表現する力」—子どもの思考過程に見 える数学的な見方・考え方のつながり ・読解力の育成(小学校)—思考の系統を意識した説明文の授業づく り(小学校中学年) ・書くことの指導(小学校)—表現方法を培う書くことの授業づくり ・寄稿：学びの支援に役立つ認知理論—本物の対話が学びを深める ・「叱る」を考える—非行と「叱る」</p>